

黒毛和種県産種雄牛「菊勝久」の作出

【1 成果の概要】

産子の枝肉成績から種雄牛の産肉能力を調査する現場後代検定で、ロース芯面積、脂肪交雑および上物率（肉質等級4以上の割合）が本県歴代最高の成績を残した「菊勝久」を基幹種雄牛として選抜しました。

【2 血統および現場後代検定成績】

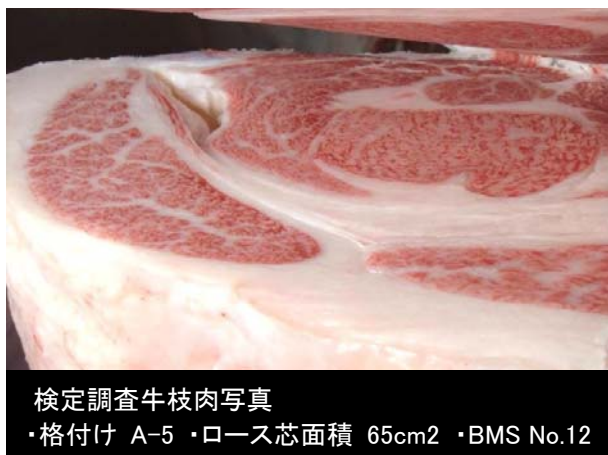
(1) 血統

安福久	安福165の9	安福(岐阜)	安谷土井
		しげふじ13の7	茂富士
黒原4416 (85.5)	もとじろう	紋次郎	安美土井
		もとひかり	糸光 ◆
きくまみ	勝忠平	平茂勝	第20平茂
		うめ2	忠福
黒原1388855 (81.4)	まいとみ	菊安舞鶴	安福165の9
		とみきたぐに	北国7の8



(2) 現場後代検定成績

項目	去勢	雌
頭数 (頭)	10	10
枝肉重量 (kg)	537	455
ロース芯面積 (cm ²)	65.9	65.3
バラの厚さ (cm)	9.1	7.9
皮下脂肪の厚さ (cm)	2.6	2.9
歩留基準値 (%)	75.0	74.8
脂肪交雑 (BMS No.)	8.1	7.9
上物率 (%)	100	



【3 留意事項】

登録時に（公社）全国和牛登録協会が規定する9種類の遺伝的的不良形質と「菊安舞鶴」に起因する乳頭欠損因子は保因していません。

※ 平成29年7月に新たに追加された「バーター症候群1型」については検査対象外です。